

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	香川こだま学園		
○保護者評価実施期間	令和8年1月		～ 令和8年2月
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46名	(回答者数) 46名
○従業者評価実施期間	令和8年1月		～ 令和8年2月
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの発達状況を基本に、子どもが自ら遊びやことを育てていけるように、子どもの自発性を重視した療育を行っている。	子どもの気持ちや興味に寄り添った1対1での丁寧なかかわりを基本としている。そのための職員配置も職員一人につき子ども1人～1.5人と、グループ療育であっても職員との個別のなかかわりが十分にできるように配置している。 子どもが遊びや用途を選択できるように部屋ごとに玩具などの種類や配置に特色を持たせている。	それぞれの子どもの感覚特性や運動発達を踏まえてさらに感覚運動的な教材やプログラムを充実させていきたい。職員一人一人の療育力も高めていきたい。
2	地域の母子保健や医療との連携のもとで早期からの療育に取り組み、子どもたちが地域で育っていけるように支援している。	療育等支援事業を活用し、保護者が無理なく児童発達支援を理解し利用できるようなつながりを持たせている。	保護者や家族が参加しやすい場を提供し、家族支援を充実させていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながり	地域に連携した施設が少なく、また以前はこだまつりなどで行っていた地域住民や児童との交流の場がコロナ禍を経て無くなってしまった。	引き続きこだまつりなどの行事で、地域の親子が気軽に立ち寄れるようなイベントを設けるなど工夫していきたい。
2	経験年数の少ない職員の割合が高くなった。	若いフレッシュな職員が増えたので、園を挙げて全体の療育力を高めていくことを考えたい。	園内研修の充実だけでなく、園外研修にも積極的に参加し専門分野での知識を増やしたり、若手職員が他施設職員と交流し情報交換したりする機会を作るなどして勤労意欲の向上にもつなげたい。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 香川こだま学園

公表日 令和8年 6 月 1 日

利用児童数 令和8年1月5日現在46名

回収数 46名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46	0	0	0	広いスペースだと思います。	子どもたちがのびのびと自分の活動を楽しめるように、担任同士で相談して使用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	45	0	0	1		療育時は職員一人についての担当児は1～1.5人とほぼ個別的な対応ができる基準以上の配置をしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	46	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	46	0	0	0		
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	46	0	0	0	・支援については素晴らしいと思います。 ・専門的知識を持つSTの先生に個別療育を受けたり、家でできるトレーニングの勉強会、専門的知識の情報共有、言語発達についての個別相談などの機会が欲しい。	・保護者の方からの個別的なご相談、ご要望にはお応えしていきたいと思っております。いつでも担任や児発管にお声掛けください。 ・グループ療育時も必ず1対1で個別的な対応をする時間を作り、対象児の好きな活動と一緒にすることでその子に合わせた関りをして、コミュニケーション活動がより楽しく活性化しよう心がけています。	
6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	46	0	0	0			
7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	46	0	0	0			
8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	44	0	0	2		年二回個別支援懇談会において、それぞれのお子さんの目指していきたい目標やそのための支援内容を説明させていただきまます。令和8年前期からは様式を整備して、保護者の方により分かり易い支援目標や支援内容をお示しできるようにします。	
9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	46	0	0	0			
10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40	1	0	5		季節ごとの外遊びや行事（豆まきなど）に加え、日々の子どもの様子をしながら担任が話し合っして療育内容を決めています。	
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	4	11	14		通常の療育時間に地域のお子さんと交流する機会はありませんが、こだままつりではコロナ後少しづつ地域の子どもたちに参加してもらっています。今後はさらに幅広く参加を勧めていきたいと思っています。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	46	0	0	0			
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	46	0	0	0			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	45	0	0	1			

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	46	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・よく伝えてくれたり、話を聞いてくれたりします。 ・小さなこどもでも確認してくれて助かっています。 	来園時に健康状態や気を付ける点などを保護者の方に確認しています。また降園時にも園でのその日の様子や特別な出来事などを分かり易くお話しするよう気をつけています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	45	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・とても熱心に相談に乗っていただき助言をしてもらっています。 	個別支援計画懇談会やモニタリング時には全員の保護者の方と面談、相談などを行っています。それ以外にご希望があればいつでも園長、児発官、担任などが面談させていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	46	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	40	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流の機会はあるが、きょうだい同士の交流の機会はなかった。 ・定期的に保護者会を聞いてくれています。良い勉強になります。 ・きょうだい向けのイベントはなかったと思う。 ・ごだまつりがとても楽しかった。難しいかもしれないが、きょうだい参加できる行事がもう少し増えたらいい。 	ごだまつりではごきょうだいも含めて家族みんなで楽しめるようにと企画しています。大きい年齢のごきょうだいも楽しめたり、ごきょうだい同士が交流したりというのは今後検討したいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	44	0	0	2		保護者の方から申し入れがあった時には、いつでも相談に応じられるような体制を取っています。利用契約書第5条にも常に保護者の相談支援に応じることを明記しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	46	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	7	2	12		行事予定や連絡体制等の情報はお知らせを配布しています。事業所自己評価は毎年ホームページで公表しています。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41	2	0	3		個人情報の取り扱いについては毎年職員全員で研修を受けています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	40	1	0	5		緊急時の対応については重要事項説明の中で説明しています。各種マニュアルについては、本館、東館、西館それぞれの玄関に掲示しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39	0	0	7		月1回各種避難訓練、対応訓練を行っています。年間訓練計画についてはお知らせで配布しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	41	1	0	4		香川ごだま学園の防災などについては毎年文書で保護者にお知らせしています。安全計画の詳細はホームページに掲載しています。
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	1	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・園でけが等をしたことがないので経験がないです。 	園で事故があった時は、事故対応マニュアルに添ってまず保護者に連絡し詳細をご説明させていただき、協力医を受診する等の対応をしています。また行政にも報告するようになっています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	45	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日楽しく通所しています。 	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	45	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・休みの日は悲しい顔をしています。 ・家とは違って先生と楽しそうに遊ぶ息子を見ることができてうれしい。 	
29	事業所の支援に満足していますか。	46	0	0	0			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		香川こだま学園				公表日	令和8年 6月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	こども1~1.5人に対して職員が1人と、なるべく個別的な対応ができるように基準を超えて配置している。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	日々の意見集約のほか個別面談も実施している。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1		今後第三者評価を受けることを検討している		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0		若手の育成の機会として、さらに他施設との交流のある研修受講などを促したい。		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		時間は短くても、保育所、幼稚園への意向を見据え、体系的な集団活動を取り入れる余地はある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	0	自立支援協議会子ども部会と連携して、地域の児童発達支援事業所対象に研修会を開くなどの取り組みをしている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	10	0		今後若手の職員が外部研修に参加し、専門分野での知識を深めたり他施設職員と交流したりする機会を増やしていきたい。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	0	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ定期的に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	並行通園、保育所等訪問支援との併用などやこだままつりの中で交流できるようにしているがコロナ以降少なくなっている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	保護者対象に先輩の保護者との懇談会やペアレントトレーニングなどを行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	定期的に実施する場合と適宜実施する場合がある。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0	ペアレントトレーニングや保護者学級の中で交流の機会を設けている。きょうだい児は主にこだままつりで一緒に遊ぶ機会を持っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0		さらにホームページを活用することは検討したい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8		コロナ禍以降できていないが、どのような形がとれるか検討していく必要は感じている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	ホームページや文書でお知らせしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	事例・事象については朝礼で周知したりヒヤリハットで回覧したりして職員間で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	年二回職員研修の時間内で研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	虐待防止委員会の中で組織的に決定し、保護者に懇談時に説明して同意をいただいている。		